

つみきのくらし

NO.49

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。



大浦 久子

『あ～とる～む』、始めました～！



何作ろうかな。



ロフトには編み物コーナー→



ストロー使うんだね



3. 4. 5歳児があ～とる～むを使う日が来ました！大人たちが部屋を改装し、制作コーナーを準備している期間心待ちにしながら過ごしていた子どもたちでしたので、「どんなものがあるかな」「これ使ってみよう」と興味津々でした。
● この材料を使い何を作ろうか「思考・試行」している子どもたちの「やってみたい」の集中が途切れるきっかけにならないように、大人たちは声掛けを控えそっと見守っていました。



おとなには『廃材』 こどもには・・・？



『廃材』とは…。使われなくなった材木や材料のこと。園で集めている廃材は役目を終えた物、不要になったご家庭にある物です。大人には、お菓子の空き箱は不要なものにとらえがちですが、子どもたちにはどうでしょう。「わー！お菓子の箱がある！このお菓子大好き！これ使って何作ろうかな～」ワクワクとウキウキがとまりません。子どもたちに見えているのは『たからもの』かもしれません。

大人の価値観（不要なもの） VS 子どもの価値観（たからもの）

自分が作りたいものをどんな材料を使ってどう表現しようか、うまくいかないときは友だちに相談する、完成し動かしてみる、アレンジをいれるなど試行錯誤することで子どもたちの頭と指先がフル回転していきます。

そう思うと、園は『廃材を集めます』ではなくて、『おうちにあるたからものに変身するものを集めます』とか『ときめくものを集めます』など表現を変換し、子ども寄りの価値観を意識してどんなたからものを作ってくるのか楽しみたいと思います。

子どもたちが感じている価値観は大切にしていきたいですね

園内研修

昨日、職員が受けてきた園外研修の報告を兼ねて園内研修を行いました。

視察や研修の機会は貴重なので、アウトプットする職員を講師に質問や疑問を投げかけていました。



しかし、つのは～んぼん



久しぶりに実践型の内容もあり、楽しみたいのに説明を理解できない…。子どもたちは見てすぐできるのに、頭とからだがかちがちな大人たちでした。



実践型の研修を受けると子どもたちは“こんな風に楽しんでいるんだ”、“こんな気持ちなのかな”と疑似体験します。こどもの視点を再確認する機会にもなりました。さっそく子どもたちとも遊んでみようと思います。